



文責 平和教育マスター 新井 榮

第3部「恵まれない子供たちと共に」(20)10年後の再会

私が1年のうち、子どもたちと半年間現地で共に過ごし、気づけば早くも10年以上が過ぎました。子どもたちはいずれも手に職を付け自立し、今はほとんどの子どもたちが家庭を持ち安定した生活を送っているようです。そんな子どもたちの様子を元気うちに見ておきたいと思い、思い切って子どもたちに会いに行くことにしたのです。これがコロナ蔓延の前の年でした。今考えると実にいい時期に現地行きをしたものだと思います。

現地行きは事前に年長の女の子と連絡を取っていましたが、この子が実に要領よく皆に連絡してくれたり、集まる場所の手配までしてくれていたのです。そのお陰で、会場に着くとたくさんのお母さんや子どもたちが集まってくれていたのです。懐かしい顔、顔、顔・・・みんな立派な大人になっていました。

話を聞いてみると、この子どもたちのほとんどが観光業関係の仕事とのことでした。現地は長い戦乱後のまもなくということもあり、産業が著しく遅れてしまいました。そのため若い人たちの働く所がほとんどないのです。しかし、子どもたちのいるところは幸いにして観光地であり、それに子どもたちには日本語を教えていたので片言の日本語を話せることが、就職のいい条件になったのだと思います。また、女の子たちの中には結婚した子も多くいました。その中で当日、旦那さんと子どもと一家そろって参加してくれた子もいました。また特に嬉しかったのは、小児麻痺で車椅子生活の子がいましたが、この子は革製品に彫刻をするという職人として立派に自立していたのです。彼は、職場の後輩に送られ参加してくれました。他にも、施設のお母さんとして子どもたちに慕われていた方が、150kmも離れた悪路のところを来てくれたのです。本当に感謝・感謝でした。

しかしお父さんには、ラオスとの国境で軍役任務に就いていたため残念ながら会うことはできませんでした。

さて総勢20人以上の会の方ですが、会場はバイキング形式ということもあり、よく食べたり飲んだりして制限時間を超える楽しい会となりました。集まってくれた子どもたちや会を取り仕切ってくれた子に本当に感謝、感謝、嬉しかったです。しかし、まだ会わなければならない子が2人います。この子たちはいずれもプノンペン在住です。



令和6年度第5回安平町教育委員会(8月28日開催)

- ①令和6年度安平町一般会計補正予算について
 - ②令和7年度から使用する中学校教科用図書の採択について
 - ③令和6年度全園学力・学習状況調査(北海道版結果報告書)への市町村別結果の掲載について
 - ④安平町公民館条例の一部を改正する条例について
 - ⑤安平町公民館管理規則の一部改正について
 - ⑥安平町スポーツセンター条例の一部を改正する条例の制定について
 - ⑦安平町スポーツセンター管理規則の一部改正について
 - ⑧安平町スポーツセンターホール特別貸切使用に関する規程の一部改正について
- ※第6回教育委員会(9月25日開催予定)については次号でお知らせします。また、教育委員会は、なだでも傍聴できます。詳しくは教育委員会事務局までお問い合わせください。(☎077-036)

安平町図書室 新着図書のご案内

□開室日 追分 火～日曜日 9時～17時
まなびお 月～日曜日 9時～21時
□問合せ まなびお ☎07775、追分 ☎25265

新しい本がたくさん入りました！まなびお・追分どちらの図書室の本でも借りることができます。ぜひ図書室へお越しください。リクエストもお待ちしています。

まなびお図書室

〈一般書〉メンタル回復ごはん 家族とわたしのしんどいを救う(ごんだ ゆみ)／「何回説明しても伝わらない」はなぜ起こるのか？(今井 むつみ)／がん闘病日記(森永 卓郎)／古本食堂新装開店(原田 ひ香)／暗殺(柴田 哲孝)

〈児童書〉妖怪 まどあきしかげ／中学生からの絵本のとりせつ(川口 かおる)／テントーむし(鈴木 のりたけ)／すきなことにながなこと(新井 洋行)／今日から始める！マインクラフト建築入門BOOK(菅原 嘉子)

追分公民館

〈一般書〉化学物質過敏症とは何か(渡井 健太郎)／パターンに合うテキスタイルが選べる服地事典(Mパターン研究所)／いのちのガーデン 北の森で暮らす車椅子のガーデナー(山崎 亮子)／鼓動(葉真中 顕)／急に具合が悪くなる(宮野 真生子、磯野 真穂)

〈児童書〉みんなで世界を変える！小さな革命のすすめ(佐久間 裕美子)／No.1 決定トーナメント!! 幻獣(モンスター)最強王図鑑(建部 伸明)／なんのくるまにのるのかな？(小輪 瀬 護安)／DJ YOYO(おおなり 修司)／おじさんのぼうしはどこいった？(ジョアン・L・ノドセット)

今月の展示テーマ

『支え合える社会へ』

「共に生き、ともに歩もう認知症」、2024年度世界アルツハイマーデーの標語です。9月21日は、WHO と国際アルツハイマー協会(ADI)の制定した「世界アルツハイマーデー」です。認知症になっても安心して暮らせるように、理解をすすめる、地域でつながり、支え合っている社会を目指せるような本を展示します。また、地域の高齢者の方が作られた作品も併せて展示します。

この企画は、健康福祉課よりご提案いただきました。また図書室では介護や認知症の本や資料を常設展示しています。

◆ 読み聞かせ10月日程 ◆	日時	会場
読み聞かせ ありんこ会	10月19日(土)10時30分～	まなびお図書室(早来学園図書室)
ブックスタート読み聞かせボランティア赤ずきん	10月9日(水)11時～	おいわけ子ども園子育て支援センター